■ CGI を利用する場合

CGI を利用したい場合には、予め以下の内容が記載された「.htaccess」ファイルを設置する必要があります。 「.htaccess」ファイルをテキストエディタ等で作成し、CGI を実行したいディレクトリへ設置してください。 (」は半角スペース)

※「/httpdocs」へ設置した場合、サブディレクトリもすべて有効になります。 ※既に「.htaccess」ファイルを設置している場合は、以下の記述を追加してください。

AddHandler_cgi-script_.cgi Options_+ExecCGI

• テキストエディタ等で作成します。



2. ファイル名を「.htaccess」にして保存します。

	ファイル名(N):	.htaccess						~
	ファイルの種類(T):	テキスト文書 (*.txt)						\sim
						(C + T + C +	be set all	
^ 7	オルダーの非表示		又字J-h(E): []	UIF-8	~	保仔(S)	キャンセル	

- **3.** 管理者向けマニュアル「ファイルマネージャ操作」をご参照いただき、「.htaccess」ファイルを CGIを実行したいディレクトリへアップロードします。
- **4** CGI ファイルをアップロードし、プルダウンメニューの「ブラウザで開く」等で正常に表示されるか ご確認ください。



CGI が正常に表示されない場合には、パーミッション設定や CGI の記述内容をご確認ください。

 メニューより「ファイル」をクリックし、設置した CGI ファイルへ移動します。CGI ファイルの プルダウンメニューより「パーミッション変更」をクリックします。



2. 変更したい内容にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

		読み取り	書き込み	y	実行/検索	衮
所有者	\bigcirc	v			✓	
グループ		✓			✓	
その他		✓			✓	
* 必須フィールド	2	ОК	適用する	キャンセル		

3. パーミッションの変更が完了しました。

⊘ 情報: ファイルまたはディレクトリのアクセスパーミッションが正常に更新されました。					
	ファイル名を検索	Q, ~			

eperlのパスについて

perl のパスは以下の通りとなります。

